



萩市の推進構想

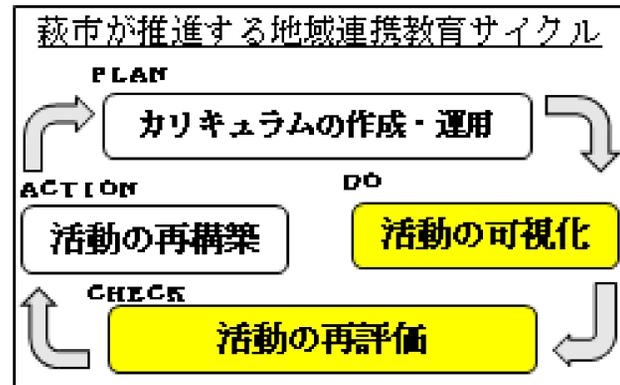
1 市の地域連携教育の「成果」と「課題」

<成果>

- 全ての小・中学校の学校評価の項目に、「地域や社会をよくするために、何をすべきか考えることがある」と共通指標を入れて分析を進めた。(再評価)
- 市内全ての中学校区のめざす子ども像、身に付けたい資質・能力を記載したポンチ絵を作成した。(可視化)

<課題>

- 学校・地域連携カリキュラムの見直し
…市内全ての小・中学校が小中一貫教育校となり、探究的な学びをどのように進めるか。
- 地域学校協働活動推進員を軸とした地域と学校の連携
…地域学校協働活動推進員を公民館館長に委嘱している地域が多いが、経験年数、地域や学校の実情等によって取組が様々である。



2 課題解決に向けた重点取組

課題①…目的（何のために連携を進めるのか）を明らかにして、小小連携や小中連携、さらには小・中学校と高等学校が一体となって、志教育のカリキュラムを実践する。

課題②…地域学校協働活動推進員に求められていることを明確にするとともに、地域と学校とで連携を図る場や地域学校協働活動推進員同士の連携を図る場を設定する。

3 重点取組の進捗を測る推進指標

- 地域協育ネット会議や研修会等を活用して、教職員へ地域連携についての理解を深める場を設定する。
- 学校・地域連携カリキュラムで「ふるさと学習（地域と関わる学習）」について、振り返りの記述内容の分析により検証を行う。
- 公民館会議や研修会等において、地域学校協働活動推進員同士の情報共有の場を年3回設定する。

市立白水小学校



子どもと地域の方との熟議

中学校区での共通取組項目（学校評価）について、6年生の児童が地域の方と熟議を行った。

市立田万川中学校



学び直し（夏休み勉強会）

夏休み中に、学校運営協議会委員さんや校区内の2つの小学校の教員に勉強を教えてもらった。

市立三見小中学校



ふるさと学習

ふるさと学習の協力隊員が、三見の歴史や自然のよさを伝承し、郷土への愛情や誇りを育んでいる。

市立大井小中学校



児童生徒全員参加の熟議

地域の祭りをみんなで盛り上げるために何ができるか、学校運営協議会で熟議を行った。